

認知症になっても高齢者のみなさんが、住みなれた地域でいつまでも健やかに生活していけるよう

廿日市市

認知症初期集中支援チーム

がサポートします！

★認知症初期集中支援チームとは？

認知症の専門医と専門知識を持つ看護師・社会福祉士で構成しています。



★こんな活動をします！

認知症またはその疑いがある人やご家族を訪問し、相談に応じます。

病院受診やサービス利用、家族への支援などの初期支援を包括的・集中的に行います。



★対象となる人は？

40歳以上で、自宅で生活をされており、認知症が疑われる人や認知症の人で、次の①～④のいずれかに該当する人。

- ①認知症の診断を受けていない人
- ②継続的な医療を受けていない人
- ③介護保険サービスを受けていないまたは中断している人
- ④認知症の症状が強く、どのように対応してよいのか困っている人

★設置機関 医療法人みやうち 廿日市野村病院

まずはご相談ください

地域包括支援センターはつかいち東部 (0829) 30-9158

地域包括支援センターはつかいち中部 (0829) 20-4580

地域包括支援センターはつかいち西部 (0829) 30-9066

地域包括支援センターさいき (0829) 72-2828

地域包括支援センターおおの (0829) 50-0251

廿日市野村病院 (080) 1907-9395

家族が作った「認知症」早期発見の目安

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にして下さい。

いくつか思い当たることがあれば、専門家に相談してみることが良いでしょう。

○物忘れがひどい

- 1
今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2
同じことを何度も言う・問う・する
- 3
しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4
財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

○判断・理解力が衰える

- 5
料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 6
新しいことが覚えられない
- 7
話のつじつまが合わない
- 8
テレビ番組の内容が理解できなくなった

○時間・場所が分からない

- 9
約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10
慣れた道でも迷うことがある



○人柄が変わる

- 11
些細なことで怒りっぽくなった
- 12
周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 13
自分の失敗を人のせいにする
- 14
「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

○不安感が強い

- 15
ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 16
外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17
「頭が変になった」と本人が訴える

○意欲がなくなる

- 18
下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 19
趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20
ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる